



今読むべき、 ビジネス書はこれ!

インタビュー収録

NewsPicks × ビジネス書大賞
コラボコンテンツ

ビジネス書は
本当に
ビジネスの
役に立つのか?

山崎元
塩野誠
海老原嗣生

TAKE
FREE

ビジネス書大賞2015

「ビジネス書大賞2015」 開催にあたって

「ビジネス書大賞」は1年間を代表するビジネス書を選出し、表彰する、日本初のビジネス書アワードです。

「ビジネス書のプレゼンスをさらに大きなものとするこゝで出版業界の活性化に貢献するとともに、日本のビジネスパーソンの成長、ひいては日本の産業界の発展に貢献すること」を目的に、2009年10月に創設。おかげさまで本年第6回を開催することとなりました。

今回の選考は、以下のようなプロセスにて行いました。

- 投票者：ビジネス書に造詣の深い企業経営者様、書店員様、書評家様、メディア関係者様、アカデミーヒルズライブラリー会員様、NewsPicks Picker様、千代田区立図書館ご利用者様
- 対象作品：2014年1月から2014年12月刊行のビジネス書（新書、文庫は書き下ろし作品のみ対象としました。小説などフィクション作品は対象外、ただし物語形式のビジネス書は対象に含みます。その他は審査員様各自のご判断で投票いただきました。なお自著、自社書籍への投票はできません）
- 選考方法：
 - (1) 対象のビジネス書から、3冊を選び理由とともにご投票いただく（一次投票）。
 - (2) 集計の上、上位8作品をノミネート作に選定する。
 - (3) ノミネート作8作品よりベスト3に絞りご投票いただく（二次投票）。
 - (4) 集計の上（1位＝3点、2位＝2点、3位＝1点）順位を決定。最終選考会にて各賞を決定する。

今回、一次投票109名、二次投票132名の方にご投票いただくことができました。みなさまから届けられた熱い推薦の声にご注目いただくとともに、ビジネス書の新たな魅力にふれる機会としていただけましたら幸いです。

全国の経営者、書店員、書評家、
メディア関係者、読者が選んだ
2014年ベストビジネス書を
熱い推薦の声とともに
お届けいたします。

各賞発表

目先の「テクニック」ではなく、ピーター・ティールという稀代の起業家が持つ「哲学」と「思想」を伝えたというスケールの大きさに加え、多くの読者の起業家精神を刺激したという長期的な貢献も評価された。

Google という誰もが知る有名企業の働き方の本質を、現会長自身の手で、明日にでも活かせる実践的・具体的内容にまで落とし込んだ点を評価された。

多くのビジネス書のエッセンスを凝縮したかのような濃密な内容に、特に現場に立つ書店員のみなさまから多くの支持が寄せられたため、書店賞受賞となった。

出版業界の枠を超えて社会現象とまでなった『21世紀の資本』をはじめ、数多くの経済書・ビジネス書の翻訳を通じて日本社会に貢献した功績が評価された。

【最終選考会について】

最終選考会は、二次投票によって決定した順位をもとに、以下11名による最終選考委員での協議により各賞を決定した。

最終選考委員 株式会社オトバンク代表取締役会長・上田渉様／日本出版販売株式会社マーケティング本部仕入部・大橋功幸様／アカデミーヒルズ六本木ライブラリー・小林麻実様／NewsPicks編集長・佐々木紀彦様／週刊ダイヤモンド前副編集長・佐藤寛久様／丸善日本橋店店长・篠田晃典様／講談社第一事業戦略部長兼現代ビジネス編集長・瀬尾傑様／日経BP オンラインプロデューサー・柳瀬博一様／東洋経済オンライン編集長・山田俊浩様／アサヒグループホールディングス株式会社 代表取締役社長 兼 CEO・泉谷直木様 [当日はご欠席のため事前に意見拝聴]／株式会社ディスカヴァー・トゥエンティワン取締役社長・干場弓子 (順不同)



大賞

ゼロ・トゥ・ワン

ピーター・ティール、ブレイク・マスターズ
/NHK出版



準大賞

How Google Works

エリック・シュミット、ジョナサン・ローゼンバーグ、
アラン・イーグル、ラリー・ページ
/日本経済新聞出版社



書店賞

エッセンシャル思考

グレッグ・マキューン / かんき出版



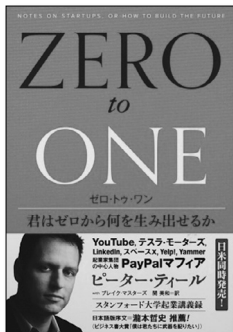
審査員
特別賞

山形浩生氏

『21世紀の資本』等翻訳者

二次投票による順位

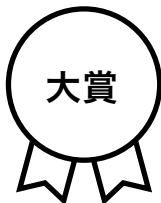
- | | | | |
|----|--|----|---|
| 1位 | ビジネスモデル全史
三谷宏治 / ディスカヴァー・トゥエンティワン | 5位 | GIVE & TAKE
アダム・グラント / 三笠書房 |
| 2位 | ゼロ・トゥ・ワン
ピーター・ティール、ブレイク・マスターズ
/NHK出版 | 6位 | How Google Works
エリック・シュミット、ジョナサン・ローゼン
バーグ、アラン・イーグル、ラリー・ページ
/日本経済新聞出版社 |
| 3位 | 21世紀の資本
トマ・ピケティ / みすず書房 | 7位 | 京セラフィロソフィ
稲盛和夫 / サンマーク出版 |
| 4位 | エッセンシャル思考
グレッグ・マキューン / かんき出版 | 8位 | 第五の権力
エリック・シュミット、ジャレッド・コーエン
/ダイヤモンド社 |



ゼロ・トゥ・ワン

ピーター・ティール、
ブレイク・マスターズ

[NHK出版]
1728円(税込)



シリコンバレーで絶大な影響力を持つ起業家集団「ペイバル・マフィア」の雄、ピーター・ティールが、「新しい何かを創造する企業をどう立ち上げるか」を語った待望の起業講義録。

いまどき流行しているリーンスタートアップやピボットではなく、他社を凌駕する高度な技術で、小さな市場を独占することから始めることなど、多数ある起業やイノベーション関連の書籍の中でも主張が特徴的で刺激に富む。(松尾茂/ブログ「TravelBookCafe」)

「ビジネスに同じ瞬間は二度とない」という言葉のもと、リスクを選び目的志向を持って生きる人生を推奨しています。事業の創業者の重要な仕事は、初めにやるべきことを正しく行うことであり、土台に欠陥があっては偉大な企業を築くことはできないということを感じているのが印象的でした。これからの未来を描いて、著者の言う「隠れた真実」を見つけ出したいなってきます。(北野有希子/株式会社 TSUTAYA 商品本部 BOOK-MDグループ 書籍 MD チーム)

逆張りの天才である著者が強調するのは、新しいビジネスは、競合相手が存在せず市場を圧倒的に独占できるまったく新しいコンセプトを持って始めるということ。企業間競争に対しては大変批判的で、企業は競争に明け暮れる結果、目先の利益に追われ、長期的な未来に対する備えができなくなってしまうので、独占こそが重要なのだと言っている。皆が信じる「競争」は、アメリカ人の思考を歪めている単なる「イデオロギー」に過ぎない

と言、「競争」という強迫観念に駆られたアメリカの教育制度に対しても大変手厳しい。皆が著者のような生き方を選択できるかどうかは別として、あらゆる常識を明快に切って捨てる著者の主張の切れ味は、一度味わってみるべきである。(堀内勉/森ビル株式会社 取締役専務執行役員 アカデミーヒルズ担当)

ペイバルの共同創業者でエンジェル投資家として最も注目されている投資家のひとり、ピーター・ティール氏によるベンチャー起業家へのアドバイスです。人類の未来が絶滅か進歩かは、目の前のチャンスをつかみ新たなテクノロジーを生み出すことができるかにかかっている。未来に向かって邁進するアメリカの起業家精神がとても強く印象に残りました。(鈴木寛之/八重洲ブックセンター八重洲本店 2階担当 リーダー)

小さな市場で独占せよという部分にとっても感銘を受けた。今の日本の風潮に一石を投じた作品だと思った。(千代田区立図書館利用者)

起業家というものを考えるに際して参考になる記述がたくさんある。示唆に富んだ内容はくり返し読む価値がある。(山中勇樹/コジゲン代表)



How Google Works

エリック・シュミット、ジョナサン・ローゼンバーグ、
アラン・イーグル、ラリー・ペイジ

[日本経済新聞出版社]
1944円(税込)



グーグル会長がビジネスの真髄を初公開！ 戦略立案・意思決定・コミュニケーション・破壊的な変化への対応といったマネジメントの重要トピックを、社内の秘話を、社の歴史とともに明かす。

プロダクトの作り方、スマートクリエイティブと呼ばれる人材をどう採用し、マネジメントするのかを Google の具体的なエピソードを交えて書かれていたので、とても楽しく読めた。(吉岡 諒/株式会社ウィルゲート 専務取締役)

インターネットの王者 Google を知るための一冊。インターネットを使ったことがある

人、つまりほとんどすべての人にとって必読の書。(山中勇樹/コジゲン代表)

グーグルに関する書籍は何冊も出ているが、本書は今まで描かれておらず知りたかったマネジメントに関することを中心に描かれており、グーグルの本当の強さをあらためて知ることが出来た。(昼間匠/株式会社リプロ 商品部マネージャー)



エッセンシャル思考

グレッグ・マキューン
[かんき出版]
1728円(税込)

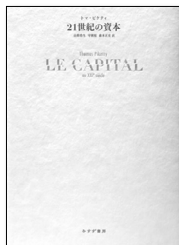


本当に重要なことを見極め、それを確実に実行するための、システムティックな方法論、それが「エッセンシャル思考」。99%の無駄を捨て1%に集中する画期的な方法を説いた一冊。

忙しすぎる毎日において、「なにをやめるか」を明確に考え直させる本であると思う。方法論だけではなく、「考え方としてどうするのか」をもう一度見直すきっかけになった。(丸山純孝/ブログ「エンジニアがビジネス書を斬る」)

自分の本当に大事なことを選択し、それに集中する。これまで何度も言われてきたこと

ではあるけれども、絶妙に織り交ぜられるエピソードとともに読み進めることであらためて納得させられる部分も多く、仕事のみならず、人生についても見つけ直すきっかけとなる一冊だと思います。(中島万里/株式会社TSUTAYA 商品本部 BOOK 部 TBN ユニット BOOKMD チーム)



21世紀の資本

トマ・ピケティ

【みすず書房】

5940円(税込)

審査員
特別賞

18世紀にまで遡る詳細なデータと、明晰な理論によって格差が長期的にどう変化してきたのかを解き明かす。格差をめぐる議論に大変革をもたらしつつある、世界的ベストセラー。

発売前からメディアで度々取り上げられ、解説書やピケティ特集の雑誌なども売れ続けています。資本収益率が経済成長を上回り格差がより拡大していく、格差の拡大が中東におけるテロなど社会を不安定にし民主主義に危機をもたらすという主張はとても共感できました。この本は資本主義経済における富の分配と格差について、たくさんの人たちが考えるきっかけになったと思います。(鈴木寛之／八重洲ブックセンター 八重洲本店 2階担当 リーダー)

2014年発行の最も印象深い本を問われれば、迷うことなく『21世紀の資本』と答え

ます。経済学の分野でここまで話題をさらっていく本も珍しい。賛否両論あるにせよ、無視はできない論文です。(桑原勇太／紀伊國屋書店 流山おおたかの森店)

一大ピケティブームを巻き起こした本書。分厚い経済の専門書が飛ぶように売れたのは、資本主義と広がる格差という同書のテーマを、私たちが自分事として捉えたからに他なりません。読者・時代のニーズに応えたこの経済の専門書は、2015年を代表する一冊であると思います。(中島万里／株式会社TSUTAYA 商品本部 BOOK 部 TBN ユニット BOOKMD チーム)

審査員特別賞* 受賞のこぼし

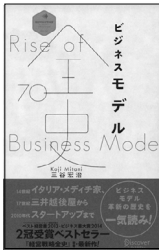
名誉ある賞をいただきまして、大変に感激しております。ピケティ『21世紀の資本』が大きな成功をおさめましたのも、原著の持つ力が大きかったことに加え、みなさまのような目利きの読者や評者、さらには書店様のご尽力あってのことと考えております。この賞の今後ますますのご発展をお祈りしております。

山形浩生



大手シンクタンク研究員、評論家、翻訳家。著書に『新教養主義宣言』『要するに』(ともに河出文庫)、『訳者解説』(バジリコ)ほか。訳書はトマ・ピケティ『21世紀の資本』(みすず書房)、ピョルン・ロンボルグ『環境危機をあおってはいけない』(文藝春秋)、ポール・クルーグマン『さっさと不況を終わらせろ』(早川書房)など多数。

※受賞理由：出版業界の枠を超えて社会現象にまでなった『21世紀の資本』を始め、数多くの経済書・ビジネス書の翻訳を通じて日本社会に貢献した功績に対して



ビジネスモデル全史

三谷宏治

[ディスカヴァー・トゥエンティワン]

3024円(税込)



14世紀イタリア・メディチ家、17世紀日本・三井越後屋に始まり、2010年代のスタートアップまで、ビジネスモデルの先駆者たちの栄枯盛衰のダイナミクスをストーリー形式で紹介する。

100社、100名として教科書的になっていないのが良い。ビジネスモデルがストーリーで平易に語られ、密度も濃い。三井越後屋の例が新鮮だった。海外と日本の事例バランスもよい。(アカデミーヒルズライブラリー会員)

前作の経営戦略全史に続き、遠い昔まで遡りビジネスモデルを整理した力作。「ビジネスモデルとは何か」を俯瞰して考えるために

役立つ事例が、体系的に、かつわかりやすく書かれていて、経営書にありがちな退屈さをまったく感じなかった。事例に出てくる企業は我々にもなじみの深いものが多いが、これからはいつもと違う視点で見ることができそうだ。これまで、ビジネスモデルという言葉を食べず嫌いしてきた方におすすめしたい。前作同様いつまでも本棚においておきたいくなる一冊。(匿名)



GIVE & TAKE

アダム・グラント

[三笠書房]

1944円(税込)



全米トップビジネススクール「ウォートン校」の史上最年少終身教授でもある気鋭の組織心理学者が教えるビジネスの秘訣。「他者志向」が、あなたの仕事に大きな成功をもたらす。

ペンシルベニア大学ウォートン校で組織心理学の教鞭をとる筆者は、人と人との関係における「ギバー(人に惜しみなく与える人)」、「テイカー(真っ先に自分の利益を優先させる人)」、「マッチャー(損得のバランスを考える人)」のそれぞれの特徴と周囲に与える影響を、様々な具体的事例をもとに分析している。そして、他者利益と同時に自己利益にも関心を持つ「他者志向のギバー」となるこ

とを勧めている。価値の“奪い合い”や“交換”ではなく、“恩送り”(pay forward)を実現することにより、自分を取り巻くコミュニティやネットワーク全体の価値を大きく成長させていくことができる。この考え方は、企業活動を営むにあたって大いに共感できる。(一部省略)(泉谷直木/アサヒグループホールディングス株式会社 代表取締役社長兼 CEO)



京セラフィロソフィ

稲盛和夫

[サンマーク出版]

2592円(税込)



京セラ、KDDIの創業、JALの再建と、次々と世界的大企業を発展に導いてきた著者の人生哲学の真髄とも言うべき「京セラフィロソフィ」。門外不出だったその内容が、ついに一般向けに公開。

これまで門外不出だった「京セラフィロソフィ手帳」を、京セラの創業者、稲盛和夫氏が解説しています。京セラの哲学、京セラが大切にしていること。そしてなぜそれが大切なのか。ビジネス、経営、仕事において何が大切なのか。これがわかる本です。(一部省略)(こばやしただあき／ビジネス書書評メルマガブログ「知識をチカラに！」)

門外不出の書と言われ、やっと発売になった本書は、稲盛氏のすべてがここに詰まっていたのだと実感する一冊です。会社をより良くするための指針が示されていても、それを実行できるかにかかっていると問われていることに気づいた時に、とても身が引き締まる思いがします。(水上紗央里／株式会社紀伊國屋書店 和書販売促進部)



第五の権力

エリック・シュミット、ジャレッド・コーエン

[ダイヤモンド社]

1944円(税込)



2025年、世界80億人がオンラインでつながる。インターネットへのアクセスという新しい力を手にする私たちと社会は、いったいどこへ向かうのか？ Googleの会長らが思い描く未来を語る。

冒頭で描かれる、まるでSF映画のような未来。仮想世界と現実世界の2つの世界を生きるような未来像は、確実に現実のものになってきている。オンラインの自由さは、逆に不自由にもなり得るのだが、Google会長の著者が描く未来は、それでも明るい。「権力」をどう使うかは、これからの私たち次第だから。時代を反映する一冊。(竹添嘉子／紀伊國屋書店 新宿本店 第二課係長)

最近ではマスコミ批判が激しいが携帯電話の普及でたくさんの人の発言が広く伝達され影響力を持ったため、市民が第五の権力を手に入れたためだろう。この本はグーグル会長がインターネットの普及した未来について語っています。仮想世界と現実世界、2つの世界をどう生きていくか、今から準備する必要性を強く感じました。(鈴木寛之／八重洲ブックセンター 八重洲本店 2階担当リーダー)



×



NewsPicks×ビジネス書大賞2015
コラボコンテンツ

「ビジネス書は本当に ビジネスの役に立つのか？」

ビジネスに役立てるため、

知識や教養を身につけるため……

人がビジネス書を読む理由はそれぞれだろう。

「たった1000円程度でさまざまなノウハウを学べる

ビジネス書は最高の自己投資だ」という声がある一方、

「ビジネス書を読むのは時間のムダだ」といったシビアな意見もある。

実際のところ、ビジネス書は本当にビジネスの役に立つのか？

NewsPicks編集部は、読書家として知られる

山崎元氏、塩野誠氏、海老原嗣生氏ら

各分野のプロフェッショナルにインタビューを実施。

ビジネスへの役立て方、良書、悪書を見極める方法、

座右の書など、ビジネス書について語り尽くしてもらった。

NEWS PICKS

もっと自由な経済誌を。ニューズピックスは、経済情報に特化したニュース共有サービスです。<http://newspicks.com/>

ビジネス書とは「栄養ドリンク」。 効果は錯覚に過ぎない 「年功型」だからこそ誰もが「成功」を夢見てビジネス書に走る

株式会社ニッチモ 代表取締役

海老原 嗣生 Tsuگو Ebihara

1964年生まれ。上智大学経済学部卒業。リコーに入社後、リクルート人材センター（現リクルートキャリア）を経て2008年、HRコンサルティング会社ニッチモを設立。また、リクルートキャリアのフェローとして、同社が発行する人事・経営誌「HRmics」の編集長も務めている。人材マネジメント、経営マネジメント論が専門。

「欧米で成功者を目指しているのは一部だけ」

ビジネス書とは、栄養ドリンクのようなものです。大体1000円くらいで、「効いた気」がする。実は「自然治癒力」で体力が回復しているだけなのに、ドリンクのおかげと錯覚してしまう。だから、買う人が後を絶ちません。

では、なぜ、日本のビジネスパーソンは「自然治癒」するのでしょいか？

それは、「年功社会」のせいです。年功制の崩壊、実力主義……なんかかんや言っても、今でも、結局、「35歳で係長、40歳で課長」となる人が大半です。

すると、30代前半だと多くの人はまだヒラです。欧米の一部エリートだともう部長になっていたりするのに「自分は大丈夫か」と多くの人は悩む。だからビジネス書を読みあさる。ところが、読み続けると同時に歳をとり、多くの人は昇進を果たす。

だから、「あの時のビジネス書が効いた」と皆錯覚するのです。それが「栄養ドリンクに似ている」ということなのです。

もう一つ、日本でビジネス書が売れる理由があります。それは、「誰もがエリート」型社会だということ。

欧米だと（正確には欧州と米国では少々異なりますが）、エリートと普通の人は分離しています。米国なら、リーダーシッププログラム（LP）で採用される一部の高

学歴者が、出世街道を慕進する。フランス

では、上位グランゼコールを卒業したカール層が役職者のポストを握っています。「ヒラ」から出世する人もいないわけではないですが、それとて、30歳には結論が出てしまう世界。だから、30歳過ぎて、うだつの上がない人は、一生そのままという国柄。日本のように、学歴がそこそこくらの大量の新卒入社社員が、かなりの確率で課長・部長となれてしまう生易しい社会とは根本的に異なるのです。

欧米でももちろんジョブズ本は売れていますが、それは日本でいえば坂本竜馬や西郷隆盛などの偉人伝を読んで「すごいなあ」と感動するためのものです。ところが、30代半ばでも「末は役員に」と多くの人が考える日本では、その本に書いてあることを咀嚼して明日から実践すれば、俺も10年後にはグレートなリーダーになっている、と誤解してしまふ。この差がありません。

それって、妖怪ウォッチを買ってメダルを集めれば、誰でも妖怪と交信できると考えている子どもたちと同じでしょうね。少なくとも欧米人からはそう見えているはずですよ。

その子ども向けおもちゃを売りさばくおもちゃメーカーが、アニメやマンガ、映画、テレビ番組、雑誌などを通して、子どもの購買意欲を刺激するのと同様に、ビジネス書商売も、多角的に30代ビジネスマンの射幸心をあおります。

MBAでもない単なるビジネス教養を教えるサブスクールが全国に校舎を構え、エリート街道ガイドブックのようなビジネス誌が20代向けの分冊を発行し……。そして、極めつけはこんな茶番構造を揶揄するはずの識者・評論家までもが、「欧米ならそれが当たり前」というようなアジテーションまでします。コンサル出身の某女性とか、東大出身のもじりもじり頭の学者とか。

長寿健康大国だからドリンク剤が売れ、誰もがエリート社会だからビジネス書が売れるってことですね。

1500円を超えた本に良書なし

すみません、特集の趣旨に反して、ビジネス書批判ばかりしてしまいました(笑)。ここからは少々、編集者の意図をくんで、良きビジネス書とは、という話をしましょう。



私に言わせれば、特に1500円以上の栄養ドリンク、もとい、ビジネス書は良くない。2000円を超えた日には、まずめったに役に立つ本はない。そう、安くてもめの本が良いと思っています。

なぜなら、高くて分厚い本は、余計なことがたくさん書いてあるからです。それも、研究書よろしく、理論的な話がけっこう多くを占めます。しかし、そんな理論の説明は、うんちくおやじ。として与太話をするとき以外、まったく役に立ちません。

今までに流行った分厚いビジネス本で心に残っているのは、以下の二冊くらいかな。一冊は、C.K.プラハラードの『コア・コンピュータ経営』。

世の中の、偽物秀才。たちは、結局、モノマネをいかにうまくやるか、という技術を磨くだけの仕事をしています。そういうモノマネ秀才向け教科書の極みが、マイケ

ル・ポーターの著作です。良きポジションに逃げ込み、そこで徹底的に成功した他社を分析してまねるというだけの話です。そんな創造性の欠片もない世界観に対してアンチテーゼとなったのが本書です。企業は企業独自の神秘的な力を持っている。いくらポジショニングで他社に対して有利になっても、結局、そこにしかりとしたコア・コンピュータがなければ成功などできない！とポーターに一撃を食らわせました。

そしてもう一冊がクレイトン・クリステンセンの『イノベーションのジレンマ』(この本は1500円を超えています……)。彼の説く、破壊的イノベーションには、裏の意味があります。タブレットやスマートフォンなんていうのは、典型的な破壊的イノベーションです。なぜなら、パソコンから「キーボード」を取っちゃったから。つまり、それ自体は、現在の製品より明らかに「質の低い」ものです。ところ

が、それを分かりながらも取っ払った。では、なぜそんな製品はそう簡単にはできないのか。

それは、「現在の顧客の声」を重視するからに他なりません。だって、パソコンからキーボード取るよ、なんて言ったら顧客は反対するに決まっていますよね。でも、出したら売れた。それは、パソコンを持ち運ぶ、という新たな提案で、音楽や読書や





ゲーム、SNSなどの非ビジネスユーザーという未開拓顧客がこちらを振り向いたから。そう、クリエイティブな世界は、目の前の顧客を捨てることから始まる。こうい

う大胆な視点がいい。右記で批判したボーターとは、やはり一線を画します。

ビジネス書を卒業して、
自分のオリジナルづくりにまい進せよ

繰り返しになりますが、ビジネス書はドリンク剤と同じでそうそう効くものではないと思っています。特に、仕事をうまくする術のような仕事本などはその典型でしょう。内容は多かれ少なかれ、大体同じ。しかしのように、ある年代がどうしてもそんな本に魅かれてしまうのであれば、良書を一冊徹底的に読み込み、それを咀嚼して完全に自分のものにするのを勧めます。一冊で卒業して、あとは自分の「オリジナルづくり」に邁進するほうが得策です。

自分の持ち味をつくるには、自分の頭で考える、自分なりのアンテナを張り巡らすことです。そちらの方が、ビジネスを生き抜く上で、よっぽど大切であり、むやみ

に、類書を読み続けることは時間のムダのみならず、必ずやビジネスパーソンとしての成長に危害をもたらすと警告をさせていただきます。

「失敗本」と「変遷本」から 人間の機微を学べ

「成長できる本しか読みたくない」というのは無理がある

「失敗」を描いた本は面白い

人は誰しも失敗を恐れる。だからこそビジネス書では「失敗本」がお勧めです。世の中で起こった過去のさまざまな過ちを追体験することで、なぜそれが起きたのか、どう対処すべきか、問題の本質について詳細に知ることができるからです。例えば、東京地検特捜部のエースだった田中森一氏の『反転―闇社会の守護神と呼ばれて』は良い本です。敏腕検事が闇社会の代理人と

なり、最後は逮捕、服役するという現実^じに起きた話です。また、『洞落』は一世を風靡^ひした大島健伸氏と木村剛氏の出会いと、その破滅を詳細にレポートしています。若者に読ませると人生の見方が変わります。

昨年出た本だと、伊藤博敏氏の『黒幕』にしがびれました。昔は、個人で表社会と裏社会をつなぐ情報フィクサーという人物がいたわけですが、この本は、それを担っていた石原俊介氏の半生に触れています。情報^じが一部の人間だけにクローズド化されて

経営共創基盤パートナー/
取締役マネージングディレクター

塩野 誠
Makoto Shiono

1975年生まれ。慶應義塾大学法学部卒、ワシントン大学ロースクール法学修士。ゴールドマン・サックス証券、ペイン&カンパニー、ライブドア証券（取締役副社長）などにて国内外の事業戦略立案・実行、資金調達、M & A、投資に従事したのち現職。政府系技術実証事業採択審査委員も務める。

いた時代、石原氏は個人で日本を代表する大企業と顧問契約し、内閣情報調査室や警視庁にも頼られる存在でした。しかし、インターネットの登場で情報がどんどんオープンになり、コンプライアンスが強化されると、裏と表をつなげる石原氏は影響力をなくしていきます。そんな悲哀が描かれた本です。

また、「変遷本」も読むべきですね。今年^しは戦後70年ですが、日本も、最初からすべてが整っていたわけではなく、戦後に闇

市で芋を奪い合っていた混沌の時代と地続きです。そのため、今は貧しくて制度も整っていないように見える国々も、発展の途上かもしれないのです。歴史上の出来事は直接経験できませんが、半藤一利氏の『昭和史』や猪木武徳氏の『戦後世界経済史』のような本で学ぶことはできます。

当然のように、市場経済は常に変動しているので「今、自分たちがどこにいるのか」を認識する能力がないと、優秀な経営者にはなれません。仕事をする上で、今生きている世界を相対化し、流れの中に位置付けることが必須になるのです。

好奇心と想像力を持って
「血肉になる本」を読むべき

世の中の変遷を知ることが必要だということは、言い換えるなら何事も断片的に切り取って理解しようとするのは短絡的だということなのです。

思考術系の本も、アカデミックな理論を一部取り出し、援用したものが多いため、基本的には原典に当たらないとダメだと思います。表層的なお手軽本だけを読んでみると、「何度も同じようなものを読んでしまふ」ことになりますから。

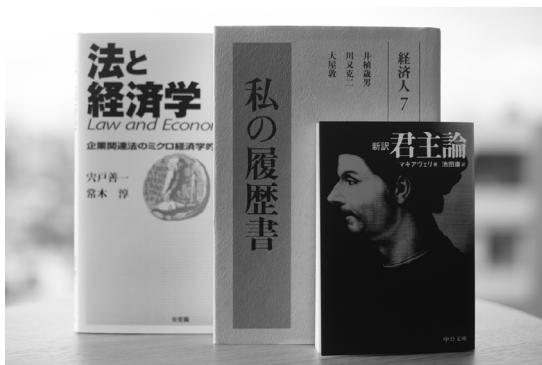
ビジネスパーソンなら「法と経済学」「ゲーム理論」「確率・統計」は押さえておくべきでしょう。そのなかでも、法と経済学が極めて重要です。『数理法務概論』といった良いテキストもあります。

世の中を動かすのは政策であり、政策とは立法することです。そして、立法は政府がどうインセンティブを設計し、誰に富を再分配するかという経済的な考え方につながります。一定のリソースがあるとして、それを公平に分配するのか、市場に任せるのか、法で強制するのか、どう法律をつくるべきか……といった話になるわけです。

たとえば、この富の分配過程においてリバタリアニズムといった議論が出てきます。今なら大賞を受賞したピーター・ティール氏に感じる思想かもしれません。でも、このリバタリアニズムも最近出てきた考え方ではないのです。リバタリアニズムに興味を持ったらロバート・ノージックや経済学的にはミルトン・フリードマン、フリードリヒ・ハイエクと原典に当たると面白いです。一つ世の中の仕組みに興味を持ったら、バックグラウ



ンドを持って考えるべきであって、「検索できるからいいや」という人は、自分の物量としての知の体系化ができないと思います。



さらに本を読む上で重要なのが、好奇心と想像力を持つことです。換言すれば、「もうひと検索できるか」ということ。私は、知を体系付けるには一定の物量が必要だと考えています。そのため、30歳くらいまではいろいろなジャンルの本を乱読するべきです。そのうちに、知識が「コネクティング・ザ・ドッツ」され、良書が悪書かも判断できるようになります。都合良く「成長できる本しか読みたくない」というのは無理があるのです。その意味でビジネス書ばかりを読むのは非常に偏りがあると思います。

ニッコロ・マキアヴェリの『君主論』や内村鑑三の『後世への最大遺物』なども、ひとかどの人物になりたいのであれば押さえておくべきだと思いますし、『オセロ』といったウィリアム・シェイクスピアの作品も人間の有象無象がすべて詰まっているので、読み返すたびに多くのことを学べます。時代の風雪に耐えた古典は普遍的なこ

とが記されているので、読む価値がありません。

本稿をお読みの読者は30〜40代の方が多いでしょう。人生は有限です。だから、くだらない本を読んでいる場合じゃないですし、くだらない人と会っている場合じゃないことが分かります。逆算すると、人生において読める本も会える人も限られていますから。

人は30歳、40歳になると自分の芸風、キャラが必要になります。その芸風を意識し、好奇心と想像力を持って、自分の血肉になる本を読むことが教養をつくるのだと思います。

洞察力、観察眼を磨く 山崎流「ツツコミ読書法」 自分語りをうのみにするのは危険だ

経済評論家

山崎 元
Hajime Yamazaki

1958年、北海道生まれ。1981年東京大学経済学部卒業、三菱商事に入社。その後、野村投信、住友信託、メリルリンチ証券、山一證券、UFJ総研など12社を経て、楽天証券経済研究所客員研究員、獨協大学特任教授、株式会社マイベンチマーク代表。資産運用および経済全般の分析・評論が専門。

多くのビジネス書は、大半の読者が期待するほど実用の足しになるものではない。しかしながら、少数の本は大いに役に立つ。私はそのくらいに思っている。

特に経営者とはワガママな生き物で、自分のことを語りたがる自己顕示欲の塊であることが多い。たまたまうまくいっただけの成功談を事後的に一般化して話すので、うのみにするのは危険だ。

自己啓発本は、読んでいると、一時的に

能力が拡張したようないい気分になるが、後には何も残らないものが多い。大半の自己啓発本は、強く願ったことは実現する、反対にかなわないのは願い方が足りないからだ……という循環論法になっている。読書時間は「消費」であって、「投資」にはならない。

潜在的意識の中からアイデアを引き出せ、そのためには準備が必要であり、それができればおのずとアイデアが湧いてくるというタイプの本もあるが、これはジェー

ムス・W・ヤングが書いた『アイデアのつくり方』がベースで、後発本はこれのアレンジしただけだ。アイデアものはこの薄い本を一冊読めば充分だ。

ただし、自己啓発本にもたまにはいいものがある。一冊だけ読むべき本を挙げるなら、ピーター・F・ドラッカーの『経営者の条件』だと思う。この本のメッセージは二つある。まず、自分の「時間」に注目し、時間の使い方から自分をコントロールせよと言っている。加えて、「自分の強み

を生かせ」とも述べている。不得意な部分は他人の手を借りていい。自分の強みを生かすことに集中すべきだ。経済学の比較生産費説の自己啓発版である。

仕事をする上で真に役立つのは、自分の「考え方のフレームワーク」をつくってくれる本だ。例えば、『ミクロ経済の教科書』は、物事を論理的に考える上でいくつものヒントを与えてくれるし、経済的な考えの表現方法を教えてくれる。最近の本なら神取道宏氏の『ミクロ経済学の力』と、林貴志氏の『ミクロ経済学』をお勧めする。需要と供給で何が言えるか、情報の役割、意思決定における機会費用や埋没費用、ビジネスの駆け引きにおけるゲーム理論の考え方など、具体的なビジネスを考える上で役に立つ「枠組み」が得られる。

40年経っても古びない

『ミルトン・フリードマンの『資本主義と自由』

あえて、私が「座右のビジネス書」を一冊挙げるとしたら、ミルトン・フリードマンの『資本主義と自由』を選ぶ。私の目下の仕事の一つは経済評論だが、その基本的な発想の多くをこの本から借りている。つまり、私のネタ本だ。

高校3年生の1月に札幌の本屋で出会った本だ。だいぶ前の本だが、40年ほど経った今でも、フリードマンが提示した、個人の自由と市場経済に基礎を置いた経済に対する考察は少しも古びることがない。

経営者とはエゴの塊。

話半分で読むくらいでちょうどいい

もっとも、先に言った経営者の実録本や自己啓発本なども「読み方」によって、有益な情報や教訓を得られる場合が時々ある。

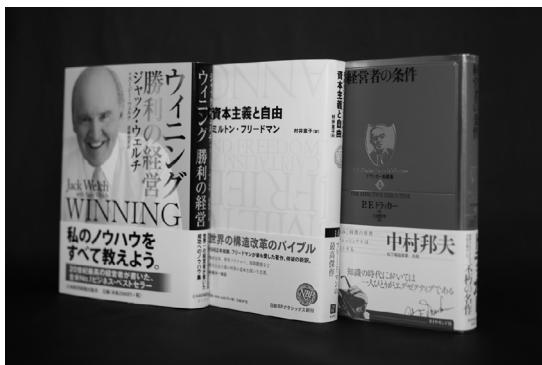
例えば、ジャック・ウェルチ氏の『ウィニング 勝利の経営』。私は、この本を

「ツッコミ」を入れながら読んで（他の本についても、大体そう

ウェルチは人事を重視した。社員を上位2割、中位7割、下位1割に分類し、上位を優遇し、下位はクビ候補だ。また、ビジネスポートフォリオを整理する上で、グローバルマーケットで1位か2位になる可能性のあるビジネスだけ残して、それ以外のは売却するなり止めるなりした。ウェルチ式の選択と集中である。グローバルな競争の影響を通じて、日本企業の経営



はこうしたやり方に向かう可能性が大きいから、この本はまだまだ多くの情報価値を持っている。



そう読む一方で、感心するばかりでなく、ウエルチの成功した経営者特有のいささか傲慢なものの言い方に「社長という種族の何と自己中心的で自信満々なことか！ これだから嫌われるのだけど、周囲は誰も注意できないのだろうか」などとツツコミを入れてバランスを取る。

同書の中には、ある投資銀行の買収が、そこにいた人々の価値観のすべてが「マイボinas！」だったので、失敗だったなどというエピソードが載っているが、ゼネラル・エレクトロニック（GE）を退職する際のウエルチが、社会的に批判を浴びるくらい厚遇を自分に与えたことなどと照らし合わせて、「経営者とは、他人を批判する際に、自分は別だと思いう生き物だ」なども読んでみる。

「勉強」に憧れるビジネスパーソンが一定割合で存在するせいか、最近では、海外MBAの権威を借りた勉強本なども、一つの

ジャンルを成している。しかし、MBAという肩書きが商品になるコンサルタント会社のような業種は別にして、真に忙しい企業は仕事の現場で役に立つ「A級」の社員を、2年以上も現場から離すMBA留学などには出さないし、まして国内大学院のMBAは履歴書に書いても「本業が暇な人だったのだ」と思われるくらいがオチである。

後に活躍したMBAホルダー著者たちの実績や知識、自信満々の文体などに感心しつつも、上記のようなツツコミを入れて本を読み、「彼らを真似しても、常にうまくいくわけではなさそうだ」と、現実的な理解に落ち着いたりもする。

ビジネス本は、それを読んでいる間に一時的な気分の高揚をもたらすなら「商品」として合格だと思うが、ドラッカーが言うように、大切なのは時間なのだから、読書時間が有効な「投資」になる本を選ぶ目を持ちたいものだ。（談）



大前研一
日本の論点
2015~16

大前研一
[プレジデント社]
1728円(税込)

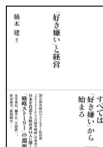
大前さんの本はいつもの確でわかりやすい。(千代田区立図書館利用者)



GPIF
世界最大の
機関投資家

小幡 淳
[東洋経済新報社]
1728円(税込)

※コメントはありませんでした。



「好き嫌い」と
経営

楠木建
[東洋経済新報社]
1728円(税込)



この人が聞き手だと、どうして強面の経営者たちがこんなに心を開くのだろう。経営戦略ではなく「好き嫌い」を訊くという企画がよかったのだろう。楠木「完全に個人的な好き嫌いで見たときに、御社の物件はどれも好きなのですか」星野佳路・星野リゾート社長「好き嫌いでいうと、どこも好きじゃないかもしれないです(笑)」。く一、プロフェッショナルである。(唐沢 暁久/講談社 学芸図書出版部)



最高の
戦略教科書
孫子

守屋 淳
[日本経済新聞出版社]
1944円(税込)

ビジネスにおいて古典に学ぶこともあるのだと気づく事になった一冊。(千代田区立図書館利用者)



こうして、
思考は
現実になる
パム・グラウト
[サンマーク出版]
1836円(税込)

当店で売っていた本でありました。思考を現実化する体験もできる読みやすい本です。(大熊恒太郎/NET21 第一書林新小岩北口店)



池上彰の
教養の
ススメ
池上彰
[日経BP社]
1620円(税込)

このところ「教養」が見直され始めているが、宗教、生物学など、異なるバックグラウンドを持つ識者の意見が面白い、かつ分かりやすい。(佐藤寛久/ダイヤモンド社 週刊ダイヤモンド編集部前副編集長)

話の内容よりも、その文章のわかりやすさにハッとさせられます。タイトルは「おとなの教養」ですが、これから就職活動を始め方や、新社会人の方にぜひ読んでもらいたい。この本は、そもそも教養とは何か、なんで必要なかを教えてくれる本だと感じました。(千代田区立図書館利用者)



問題解決
高田貴久
岩澤智之
[英治出版]
2376円(税込)

※コメントはありませんでした。



なぜ、一流の人は
「疲れ」を翌日に
持ち越さないのか
裴英洙
[ダイヤモンド社]
1404円(税込)

ビジネス書という枠組みを広げることに成功した画期的な本だと思います。(岸正一郎/株式会社 PHP 研究所 THE21編集部)

年をとるにつれて、健康であることの重要性を感じます。仕事術・自己啓発…いろいろな本がありますが、すべての土台は「体調がよいこと」です。仕事につぶされてしまっただけでは本末転倒、まずは自分の体をメンテナンスすることが最優先事項だと改めて実感させられました。(大森三規雄/株式会社 KADOKAWA マーケティング企画局)



ハーバード・
ビジネス・レビュー
BEST10論文
ハーバード・ビジネス・
レビュー編集部
[ダイヤモンド社] 1944円(税込)

グッチ、アップル、IKEAのような今をときめく会社のこれまでの経営を考察し、経営者戦略を学びます。今経営者である方だけでなく、「ストラテジストであること」はサラリーマンにとってもいかに仕事に取り組むか、人生をいかに楽しむかを学ぶことができます。詳細なデータ解析ももちろん参考になりますが、結局大切なことは企業の存在意義を忘れてはならないということでも明快な内容です。スタートアップが叫ばれる今の世の中にも最適な一冊です。(NewsPicks Picker)



頭がいい人は
なぜ、方眼ノート
を使うのか?
高橋政史
[かんき出版]
1512円(税込)

ノート術ではなく、ノートを使った思考術のハウツー本。手軽にロジカルシンキングを学べ、実践につなげられる一冊。(金澤潤/知遊堂 上越国府店 NewsPicks Picker)

(中略) 頭がいい人は自分の環境を整えることの重要性を知っていて、その結果人より仕事ができるというのはもはや必定だ。「ノートの使い方を教えてもらったことがある」かどうか、それがこんなにも大きな学力や所得の差をもたらすのかと驚くばかりである。(福田浩子/ジュンク堂書店 仙台 TR店 社会書担当)



察しない男
説明しない女
五百田達成
[ディスカヴァー・
トゥエンティワン]
1404円(税込)

このような本が単なる恋愛指南書ではなくビジネス書として売れ続けていることに、新しい時代を感じます。人を生物学的性別ではなく、思考の傾向により「男タイプ」「女タイプ」と分類し、タイプ別に傾向と対策をまとめた本書。あー、これあるある!と楽しみながらコミュニケーション上手を目指せるとあって大人気です。実際、高校生カップルから壮年期男女、中高年の男性まで、さまざまな方が立ち読みが止まらない状態になっているのをお見かけしました。(成田すず/ジュンク堂書店 那覇店 社会科学書担当)



お金持ちになれる
黄金の羽根の
拾い方2015
橋玲
[幻冬舎]
1728円(税込)

※コメントはありませんでした。

投票にご協力くださった方

(順不同・敬称略)

アカデミーヒルズライブラリー会員	鈴木寛之
千代田区立図書館ご利用者	讚州屋一龍
NewsPicks Picker	金澤潤
野上由人	杉本禎浩
堀内勉	小笠原真奈武
松倉秀樹	松葉倫代
丸山純孝	岸正一郎
こばやしただあき	水上紗央里
福田浩子	前田邦雄
松尾茂	岡本秀一
ワカサタクヤ	北野有希子
日向野信吾	大塩朋未
石田礼子	桑原勇太
吉岡諒	岡崎史子
林たつと	栗澤順一
竹添嘉子	江口裕人
山田俊浩	昼間匠
西村創一朗	黒田紗穂
大河内一孝	内藤美穂
海老名祐	藤井莊平
平塚賢也	菅亮一
荒木泰大	中島万里
佐藤寛久	瀬尾俊二
山中勇樹	大熊恒太郎
村田智一	印南敦史
奥野宣之	井内穂波
中上未紀	原孝寿
唐沢暁久	洞野宏介
亀井史夫	大森三規雄
米田智彦	平塚大智
せんちえ慶次	上田渉
成田すず	

なぜ、ビジネス書大賞は 生まれたのか。

今までの価値観が瞬く間に刷新されていくこの変革の時代、多様な知見を世に提供するビジネス書は、ますますその重要性を高めているように思われます。にもかかわらず、今まで数多くの文学賞が創設されながら、ビジネス書においては、それに類するものが存在しませんでした。

私たちは、書店員様やブロガー、メディアの編集長など、日々本と触れ合う人が選ぶ、真に読者に寄り添うビジネス書の賞をつくろうと、2009年、「ビジネス書大賞」を創設致しました。今年からはビジネスの最前線に立つ企業経営者の方々も審査員に迎え、より一層、現場で働くビジネスパーソンに支持される賞を目指します。

今、最も読むべきビジネス書を、世に広めたい。そして、自らがそれに値する良質な本のづくり手でありたい。

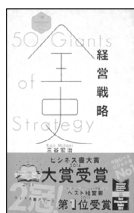
そんな思いから、一出版社であるディスカヴァー・トゥエンティワンが創設したビジネス書大賞は、おかげさまで、今年、第6回目の開催を迎えることができました。

プレイバック
ビジネス書大賞

2014



統計学が最強の学問である
西内啓
[ダイヤモンド社]
1728円(税込)



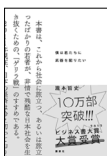
経営戦略全史
三谷宏治
[ディスカヴァー・トゥエンティワン]
3024円(税込)

2013



ワークシフト
リンダ・グラットン
[プレジデント社]
2160円(税込)

2012



僕は君たちに武器を配りたい
瀧本 哲史
[講談社]
1944円(税込)



スティーブ・ジョブズ (I)(II)
ウォルター・アイザックソン
[講談社]
各2052円(税込)

2011



ストーリーとしての競争戦略
楠木 建
[東洋経済新報社]
3024円(税込)



もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら
岩崎夏海
[ダイヤモンド社]
1728円(税込)

2010

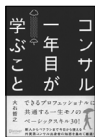


ブラック・スワン
ナシーム・ニコラス・タレブ
[ダイヤモンド社]
1944円(税込)

Discover

書籍紹介

スキルアップ



**コンサル
一年目が
学ぶこと**
大石哲之
1620円(税込)

できるプロフェッショナルに共通する一生モノのベシックススキル30!多くの取材から見えてきた、新人からベテランまで今日から使える、外資系コンサル出身者の知恵を厳選。



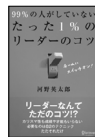
**ミッションから
はじめよう!**
並木裕太
1620円(税込)

なぜ、問題解決本を読んでも、リアルな問題は解決できないのか? それは、「ミッション」がないからです。元マッキンゼー最年少役員が教える自分と会社の変革プロセスとツール。



**勤トレ
勤力を鍛える
トレーニング**
川下和彦
1728円(税込)

大手広告代理店・博報堂での現役プロデューサー兼ディレクターである著者が、15年のキャリアの中で学び貯めてきた「勤力」(組織に勤める力)のトレーニングメソッドをあますところなく公開。



**99%の人が
していない
たった1%の
リーダーのコツ**
河野英太郎
1512円(税込)

リーダーなんてただのコツ!? 40万部突破『99%の人がしていないたった1%の仕事のコツ』の著者が贈る、カリスマ性も成績も才能もいらない、リーダーになるための82のテクニック。



**図解 99%の
人がしていない
たった1%の
仕事のコツ**
河野英太郎
1296円(税込)

シリーズ70万部突破のベストセラーが図解で登場! まじめに仕事をしているのになぜか報われない……。そんなあなたに贈る、今すぐできる仕事のコツ。

マネジメント



リーダーが身につけたい25のこと

鈴木義幸
1620円(税込)

100人以上の経営者にコーチングをおこなっている著者が、誰でもすぐに試せる方法や練習を紹介。読んですぐに実践することができま



3分間コーチ

伊藤守
1620円(税込)

部下のために3分間だけとってください。それだけですべてが変わります。わが国のコーチング界をリードする第一人者による、明日からすぐできる究極の人材マネジメント法。



新版 あたらしい戦略の教科書

酒井稔
1620円(税込)

大反響ベストセラー『はじめての課長の教科書』に続く、中間管理職の戦略入門書・決定版! 現場のために「実行」から逆算した戦略のエッセンス。



新版 はじめての課長の教科書

酒井稔
1620円(税込)

日本企業ならではの強みであるミドルに論点を絞った「日本初の中間管理職の入門書」。「課長のプロ」になる方法がわかります。



社長の心得

小宮一慶
1620円(税込)

近年、日本社会を象徴する言葉が、「リーダーの不在」。社長には社長にしかできないことがある! ——人気経営コンサルタント・小宮一慶氏の著作100冊目は、全経営者必読の書!

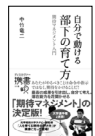
ビジネス携書



コーチングが人を活かす

鈴木義幸
1080円(税込)

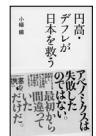
コーチングとは、相手の「自発的行動」を促進するコミュニケーションの技術。1500を超える企業に対してコーチングを提供してきたコーチエィの社長が、その手法の本質を紹介する。



自分で動ける部下の育て方

中竹竜二
1080円(税込)

最高の成果を引き出し、自分で考え、潜在能力を花開かせる「期待マネジメント」の決定版! 大学選手権2連覇の元早稲田大学ラグビー部監督の『人を育てる期待のかけ方』が携書になって登場。



円高・デフレが日本を救う

小幡績
1080円(税込)

アベノミクスは失敗したのではない。最初から間違っていただけだ。アベノミクスの成功により日本経済は悪くなった。その誤りを論じ、アベノミクスの代案と真の成長戦略を提示する。



日本一やさしく経営がわかる会計の本

久保愛希也
1080円(税込)

累計7万部突破の人気シリーズ! 元国税調査官の経営コンサルタントだから書ける、会計が「ただの知識」から「仕事で使える武器」に変わる本!



ビジネスマンのための「発見力」養成講座

小宮一慶
1080円(税込)

同じものを見ても見えるものが全然違う。人気コンサルタントが価値やチャンスを見出す発見力を徹底解説。ベストセラーシリーズ第一弾。



課題解決のための 情報収集術

河村有希絵
1404円(税込)

「時間はかかるのに、使えない情報ばかり集めてしまう」原因は、課題設定ができていないことにあります。その情報は何を解決するためのものなのかという「課題」に焦点を当てた情報収集術の決定版。



はじめての 事業計画の 作り方

伊藤公健、
吉本貴志
1404円(税込)

どんなに素晴らしいアイデアも、自分ひとりで実現することはできません。周りの人に伝え、協力を得ることができて初めて、アイデアが実現します。事業計画は、そのための強力なツールです。



数字で考える力

佐々木裕子
1404円(税込)

数字こそが、どの言語にもとられない世界共通のコミュニケーションツール。物事の本質を理解し、事前にインパクトを把握することを可能にします。できるビジネスパーソンは、数字で考え、判断し、先を読み、人を動かす。



コンサル流 プレゼン資料 作成術

伊藤公健、
吉本貴志
1404円(税込)

なぜコンサルのプレゼンはすごいのか？ 世界で勝てるプレゼン資料はここが違う！ 外資系コンサルでは常識、一般ビジネスマンには非常識の「世界で通用するドキュメンテーションの極意」。



実践型 クリティカル シンキング

佐々木裕子
1404円(税込)

「実践型クリティカルシンキング」とは、自ら目標を設定し、戦略的に達成するための思考ツール。21世紀は、ロジカルシンキングだけでは戦えない！ シリーズ第一作。

レポリューションズ



コンサル 一〇〇年史

並木裕太
2700円(税込)

郵政分割もコンサルが絡んでいた！ 世界の企業・政府に影響を及ぼし続ける強大な力の正体とは？ 100年の歴史をひも解き、その存在の是非を問う！



独裁力

木谷哲夫
1620円(税込)

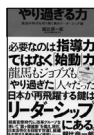
権力には、それを持ち、発揮していくためのセオリーがある。その権力のセオリーを豊富な企業の実例を交えて本格的に説く、はじめてのビジネススキル書。



経営戦略全史

三谷宏治
3024円(税込)

経営戦略100年の発展史を一気読み！ ビジネス革新をめぐる巨人たちの冒険活劇が知的興奮を誘う、ストーリーで読む経営戦略書！ 2014年ビジネス書大賞（経営書部門）を受賞。



やり過ぎる力

朝比奈一郎
1620円(税込)

必要なのは指導力ではなく「始動」力。日本が再飛躍する鍵はリーダーシップにある！ 日本活性化を目指す世直し組織を主宰する著者が熱く提言！



もう 終わっている 会社

古我知史
1620円(税込)

「選択と集中」「中期経営計画」「顧客至上主義」、この3つが日本企業をダメにした!? 終わらない会社にするために気鋭のベンチャーキャピタリストがニセモノの三種の神器を斬る！

http://biztai.jp

ビジネス書大賞

検索

click!



ノミネート作品や選評、
イベント情報などを更新中。
Facebookページもあります!

【ビジネス書大賞2015実行委員会代表】

(株)ディスカヴァー・トゥエンティワン

東京都千代田区平河町2-16-1平河町森タワー11階 TEL:03-3237-8991

【ビジネス書大賞2015実行委員会】

アカデミーヒルズ六本木ライブラリー / (株)オトバンク / NewsPicks

【協力】

千代田区立千代田図書館 / 日本出版販売株式会社 / 株式会社トーハン

【本誌編集協力】

NewsPicks

掲載の書籍はお近くの書店でお買い求めください。書店にない場合は各出版社にお問い合わせください。

